



# 副業・兼業による新たな人材・人口還流方策

## —ニューノーマルにおける首都圏人材と東北圏企業の意識調査から—

令和3年度事業報告会

2022年3月18日（金）

公益財団法人 東北活性化研究センター 主任研究員 伊藤 孝子

〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目9番10号セントレ東北9F

TEL:022-222-3394 FAX:022-222-3395

E-mail:itou@kasseiken.jp

# 調査の目的と概要

## 調査目的

- 首都圏人材の地方での副業・兼業意向および東北圏企業の副業・兼業人材受入れ意向を把握し、東北圏企業における副業・兼業人材活用を促進すること

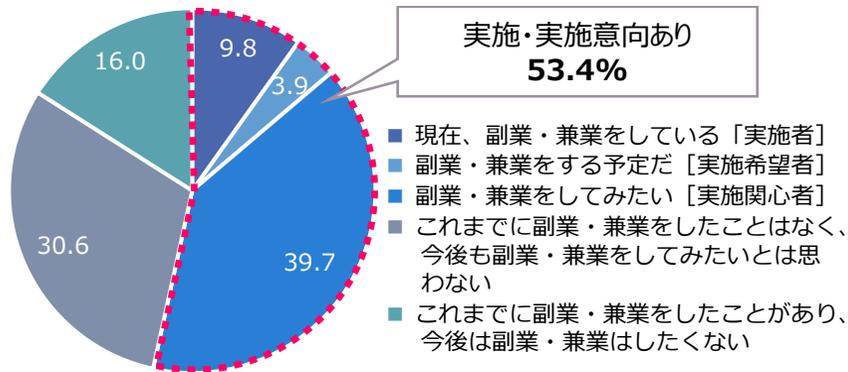
## アンケート調査の概要

	(1) 首都圏人材の地方における副業・兼業に関する調査		(2) 東北圏企業の副業・兼業人材の受入れに関する調査
	首都圏人材の副業・兼業の意向調査 (①「全体調査」)	地方企業での副業・兼業への意識および実態調査 (②「地方抽出調査」)	
調査目的	首都圏人材の地方企業での副業・兼業に関する意向や実態の把握		東北圏企業の副業・兼業人材受入れに対する意向の把握
調査地域	首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の1都3県）		東北圏（東北6県および新潟県の7県）
調査対象	20～60代の有職者 (n=20,000)	首都圏以外の地方での副業・兼業実施者、実施希望者、実施関心者 (n=1,518)	東北経済連合会会員企業 (n=129)
調査時期	2021年7月15日～22日	2021年7月19日～26日	2021年9月13日～30日
調査手法	インターネット調査モニターを用いたインターネット定量調査		インターネット定量調査

※「副業・兼業」とは、本業以外の仕事で、本業先以外の企業や他者から業務依頼を受け、報酬として何らかの対価（金銭、現物など）を受け取るものを指す。なお、株式投資、FX、不動産投資、オークションやフリーマーケットでの販売、アンケートモニターなどは除く

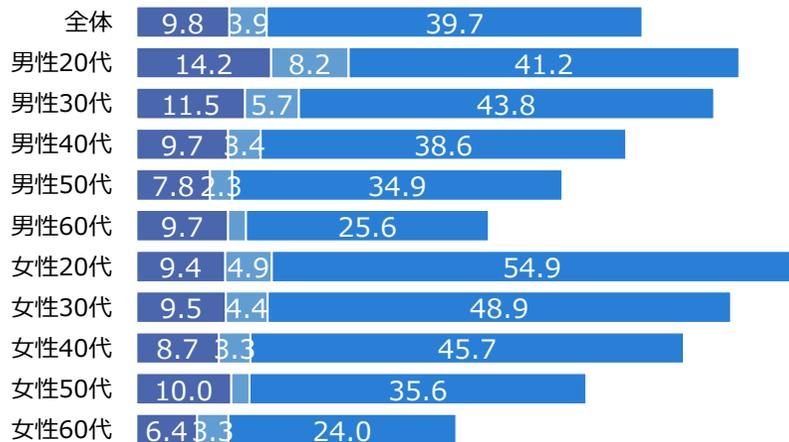
# 回答者の属性

## 首都圏人材 n=20,000 【副業・兼業の実施・関心割合】

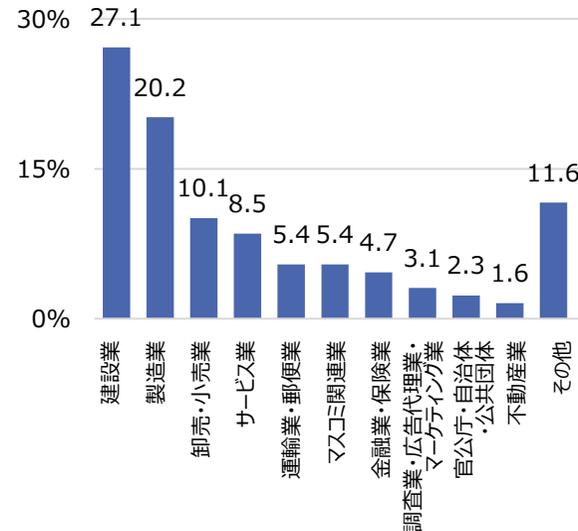


## 【性年代別実施・実施意向者割合】

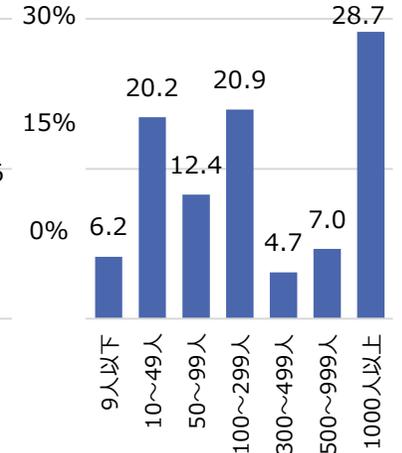
■ 現在、副業・兼業をしている ■ 副業・兼業をする予定だ ■ 副業・兼業をしてみたい



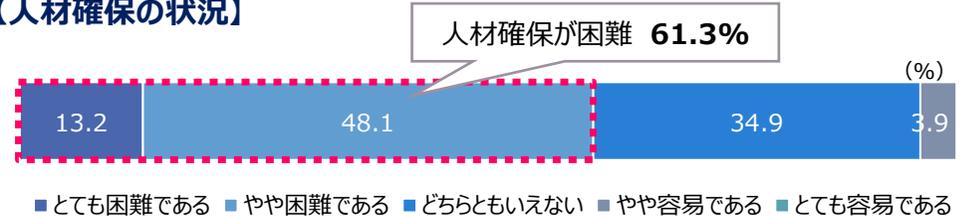
## 東北圏企業 n=129 【業種別】



## 【規模別】



## 【人材確保の状況】



## 【受入れの意向】



# 1 アンケート結果から分かった 副業・兼業を巡る首都圏人材と東北圏企業の意向

# 都市部人材の地方における副業・兼業の意向と実態（1）

首都圏人材を対象に実施したアンケート調査から明らかとなった都市部人材の地方企業での副業・兼業に関する意向や実施状況のポイントは以下の通り

- ① 副業・兼業実施・実施意向者の割合は  
**半数超**となり、**年代が低い**ほど実施意向者が多い
- ② 副業・兼業に興味関心を抱いたきっかけは  
昨今の**働き方改革**や**コロナ禍**の影響による**キャリアの見直し**
- ③ 都市部人材が希望する副業・兼業先地域の割合は、  
**9割**が首都圏で、地方圏は**1割**（うち、東北圏は**2.8%**）
- ④ 地方での副業・兼業を希望する理由には、  
「**地域はどこでもよい**」「**地方でチャレンジしたい**」という2つの傾向がある
- ⑤ 東北圏での副業・兼業に抱かれるイメージは  
**ネガティブなイメージ**が多く、他の地方圏とイメージの**差別化**が**図られていない**

## 都市部人材の地方における副業・兼業の意向と実態（2）

- ⑥ 副業・兼業先企業を選定する際の重視点は、  
**柔軟な勤務形態**や**明確な仕事内容**の提示など
- ⑦ 地方の副業・兼業先企業を探す手段として、  
**人脈**や**民間のマッチングサービス活用**への期待は高い
- ⑧ 副業・兼業先の仕事内容に期待することは、  
副業・兼業を**長期で続けられる**ことや副業・兼業を通じた**スキルの向上**
- ⑨ 副業・兼業先の地域に期待することは、  
**多様な人材の受入れに対して寛容**であることや  
**休暇を取りながらリフレッシュ**できる環境
- ⑩ 地方企業での副業・兼業実施者の総合的な満足度は、  
**仕事内容が明確**であることや**勤務形態が柔軟**であることを中心に**総じて高い**
- ⑪ 地方企業での副業・兼業実施者のうち地域に愛着を持っている人の割合は**約6割**、  
地方への移住や二地域居住の意向がある人の割合は**5割以上**

# 東北圏企業の副業・兼業人材受入れの意向

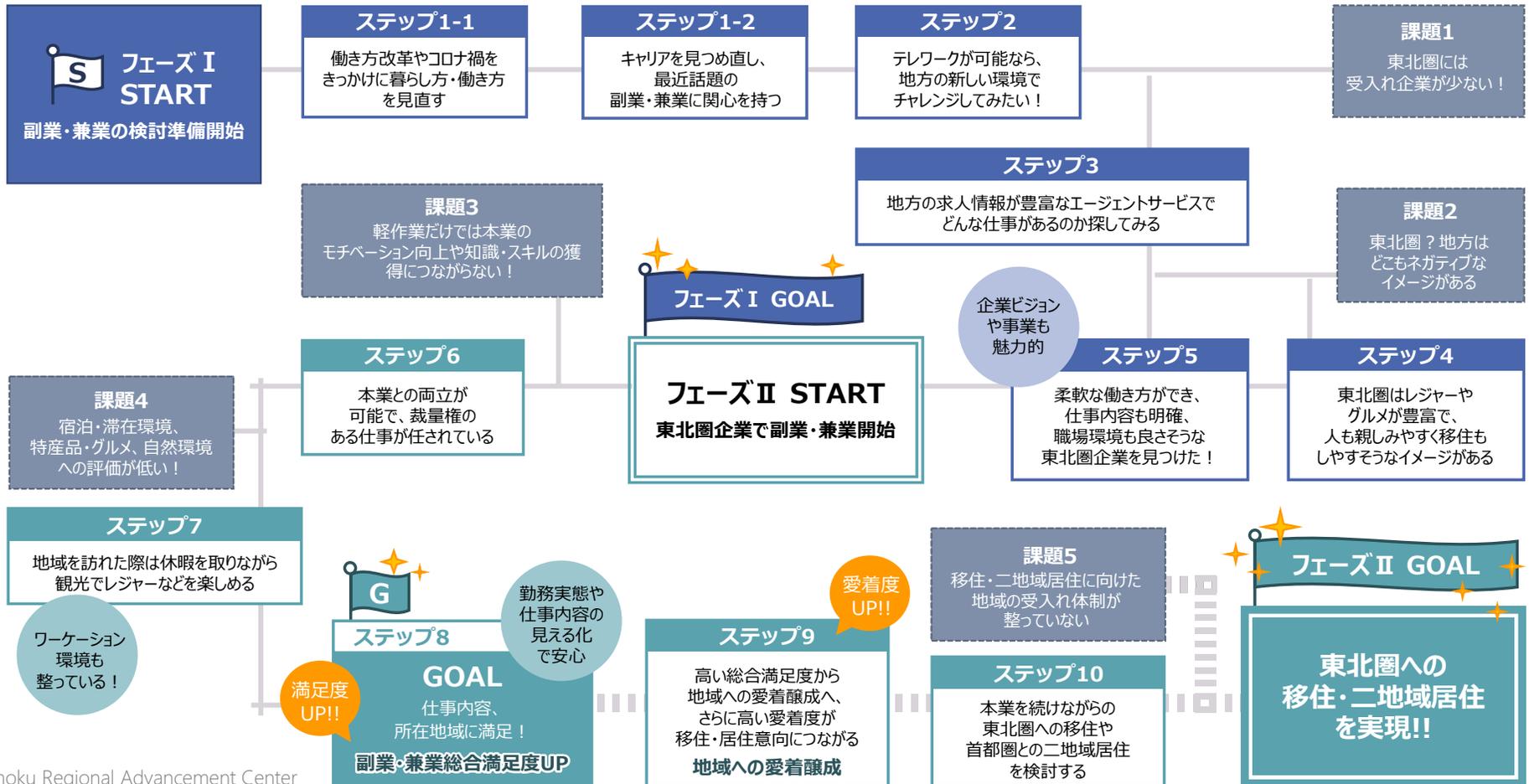
東北圏企業を対象に実施したアンケート調査から明らかとなった副業・兼業人材の受入れに対する意向および課題のポイントは以下の通り

- ① 東北圏企業は副業・兼業人材の**受入れ**に**消極的**である
- ② 東北圏企業は**副業・兼業人材の目的**は**収入補填**だとイメージしている
- ③ 副業・兼業人材の受入れにあたっての懸念点は  
**情報漏洩リスク**や過重労働による**健康リスク**といったマネジメント
- ④ 自治体や金融機関、経済団体に期待する支援は  
**成功事例・モデル事例の共有**を始め多くの支援を期待しているが、ほとんどの企業で人材活用に向けた**支援が得られていない**
- ⑤ 副業・兼業人材に**スペシャリスト**であることを求めつつも、任せたい仕事は**作業・軽作業**に過ぎない
- ⑥ **4割**の東北圏企業が首都圏などからの**移住者採用**に**前向き**

## 2 アンケート結果から整理した 都市部人材の地方企業での副業・兼業プロセスと 東北圏への人材・人口還流方策

# 都市部人材の地方企業および地域との持続可能な関係構築プロセス

首都圏を含む都市部人材の地方企業での副業・兼業プロセスを体系的に整理。当該プロセスは2つのフェーズがあり、フェーズⅠは5つのステップと2つの課題、フェーズⅡは5つのステップと3つの課題により構成



# 都市部人材の副業・兼業を通じた東北圏への人材・人口還流方策

各フェーズのゴールを目指す上で障害となる課題を解決し、東北圏への人材・人口還流を促すべく、企業や地域、自治体、金融機関、経済団体に向け以下5つの方策を提案

## 課題と対応策としての提言

<b>課題 1</b> 東北圏には受入れ企業が少ない！	<b>提言 1</b> 副業・兼業人材受入れ企業のスピーディーな掘り起こし
<b>課題 2</b> 東北圏？ 地方はどこもネガティブなイメージがある	<b>提言 2</b> 副業・兼業人材を呼び込む東北圏ならではのイメージ戦略の構築
<b>課題 3</b> 軽作業だけでは本業のモチベーション向上や知識・スキルの獲得につながらない！	<b>提言 3</b> 持続可能な副業・兼業人材受入れ体制の構築・整備
<b>課題 4</b> 宿泊・滞在環境、特産品・グルメ、自然環境への評価が低い！	<b>提言 4</b> 副業・兼業先としての魅力ある地域づくり
<b>課題 5</b> 移住・二地域居住に向けた地域の受入れ体制が整っていない	<b>提言 5</b> 地域総合力で挑む東北圏への移住・二地域居住の実現

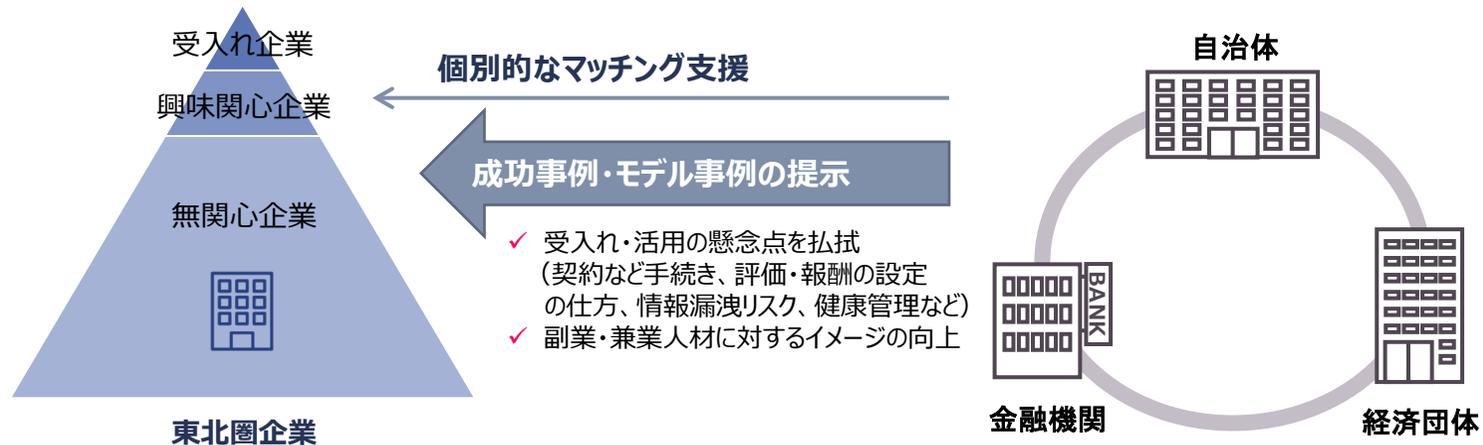
# 提言1 副業・兼業人材受入れ企業のスピーディーな掘り起こし

今後副業・兼業人材の増加が予想される中、新たな人材獲得競争に東北圏が乗り遅れることは避けなければならない。そのために、副業・兼業人材を受け入れる東北圏企業の早急な掘り起こしが最優先事項

## POINT

- ① 副業・兼業人材受入れへの興味関心の有無に関わらず企業が人材活用の情報に触れる機会を提供  
(成功事例・モデル事例の共有、活躍する副業・兼業人材の姿を提示)
- ② 受入れに前向きな企業に向けて、積極的な企業訪問や経営相談と併せて副業・兼業人材活用の普及活動を展開  
(プロフェッショナル人材戦略拠点や金融機関などとの連携)

## 副業・兼業人材受入れに向けた地域企業の掘り起こし



## 提言2 副業・兼業人材を呼び込む東北圏ならではのイメージ戦略の構築

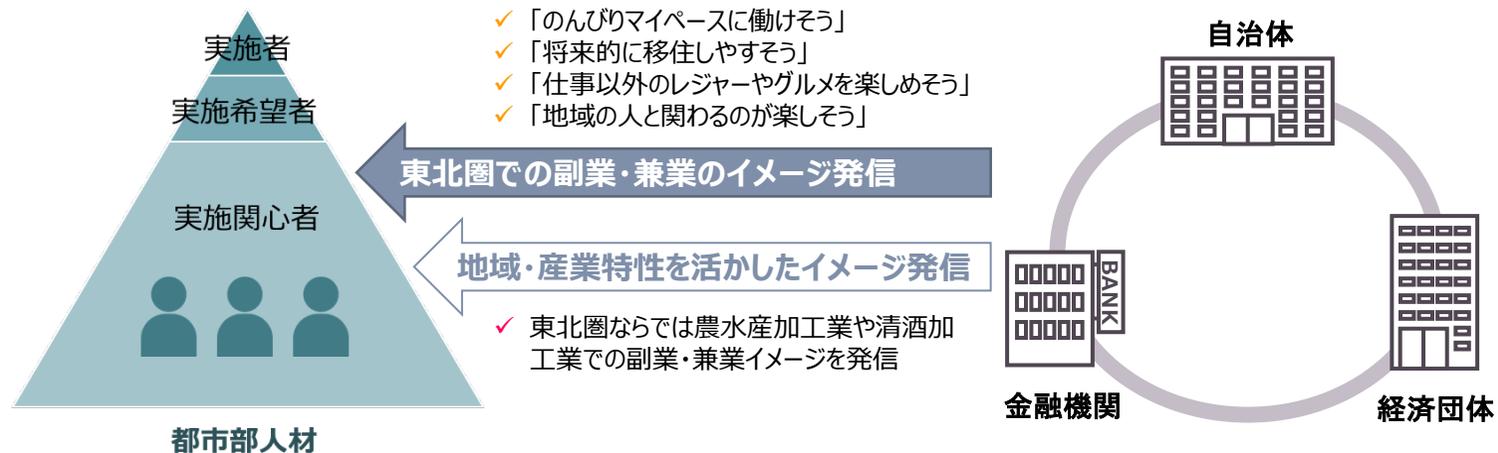
地方における副業・兼業人材獲得に向けた取組みは始まったばかりであり、今後の取組み次第では東北圏が先進地域として抜きこめる可能性がある

そこで都市部人材から選ばれる地域となるために、東北圏ならではの副業・兼業イメージを構築することが重要

### POINT

- ① 都市部人材の東北圏での副業・兼業実施率および希望率を最大化するプラスのイメージの訴求  
（「のんびりマイペースに働けそう」「将来的に移住しやすそう」「仕事以外のレジャーやグルメを楽しめそう」「地域の人と関わるのが楽しそう」といったイメージ）
- ② 東北圏固有の地域・産業特性を付加した副業・兼業イメージの戦略的発信  
（東北圏の地域特性・産業特性と結びつきが強い「食料品製造業などでの副業・兼業」をPR）

### 都市部人材に向けたイメージ発信



# 提言3 持続可能な副業・兼業人材受入れ体制の構築・整備

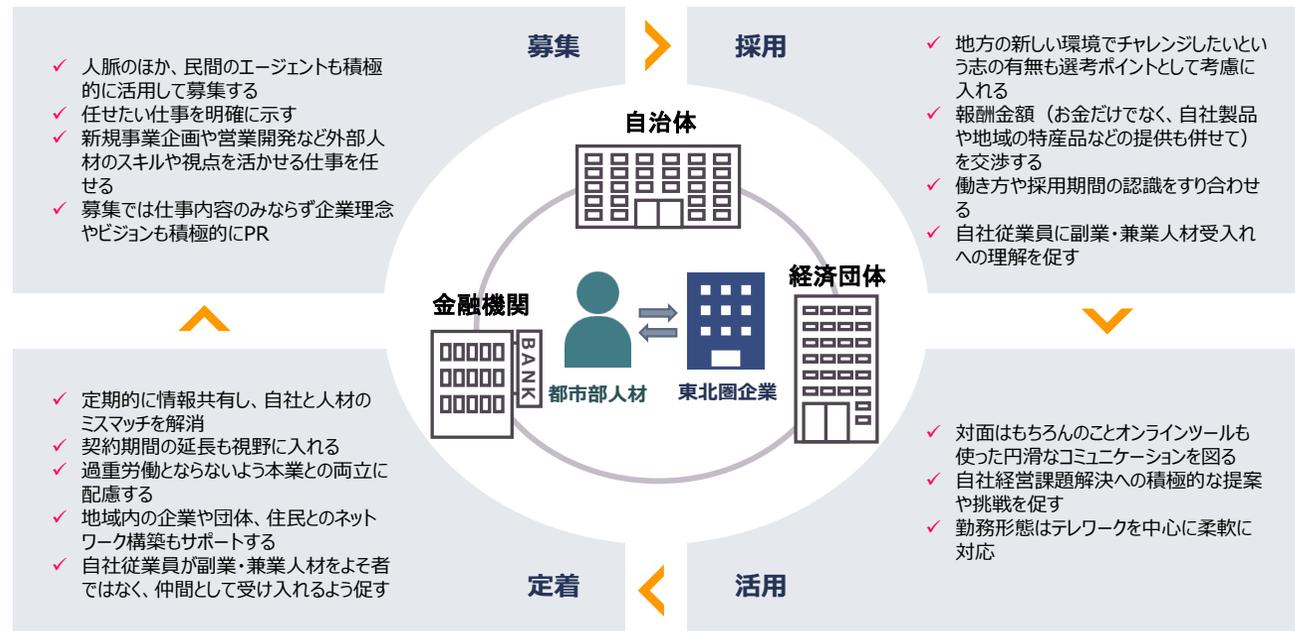
自治体や金融機関、経済団体などによる企業の副業・兼業人材活用の検討から募集、採用、さらに育成、定着までの切れ目ない支援が求められる

自治体や金融機関、経済団体などの他、地域の多様な主体を巻き込みながら副業・兼業人材を受け入れる体制を整えていくことも有効

## POINT

- ① 副業・兼業の総合満足度の向上につながりやすい個々の仕事内容のポイントを中心にマネジメントの在り方を改善（「本業のモチベーション向上につながる仕事」「地域の役に立つ仕事」「人脈が広がる仕事」「社会貢献につながる仕事」など）
- ② 地方企業のみならず都市部人材、本業先企業が副業・兼業を通じて互いにWIN-WINの関係を構築していくという視点が重要

## 多様な主体による受入れと活用のポイント



## 提言4 副業・兼業先としての魅力ある地域づくり

副業・兼業人材の総合満足度の向上には、副業・兼業先の仕事内容のみならず、その地域の様々な要素も影響しており、副業・兼業先の地域として魅力ある地域づくりが求められている

魅力ある地域づくりには地域側の協力が必要不可欠であり、地域全体で副業・兼業人材をはじめとする外部人材受入れの機運を醸成していくことが重要

### POINT

- ① 東北圏の強みである農林水産物や観光資源といった地域資源を都市部人材の満足度向上につながる形で磨き上げる
- ② 都市部の副業・兼業人材に向け地域の魅力など様々な情報を継続的に発信  
（「特産物・グルメ」「自然環境」「宿泊環境・滞在しやすさ」など）

### 副業・兼業人材受入れに向けた地域づくりと情報発信

- ✓ 地元企業の副業・兼業人材受入れに対する理解・協力
- ✓ 農林水産物や観光資源などの地域資源の磨き上げ
- ✓ ワークेशन施設整備への協力
- ✓ 地域への外部人材の積極的な受入れ



地域住民

地域の様々な魅力を発信

- ✓ 「特産物・グルメ」
- ✓ 「自然環境」
- ✓ 「宿泊環境・滞在しやすさ」



副業・兼業人材

## 提言5 地域総合力で挑む東北圏への移住・二地域居住の実現

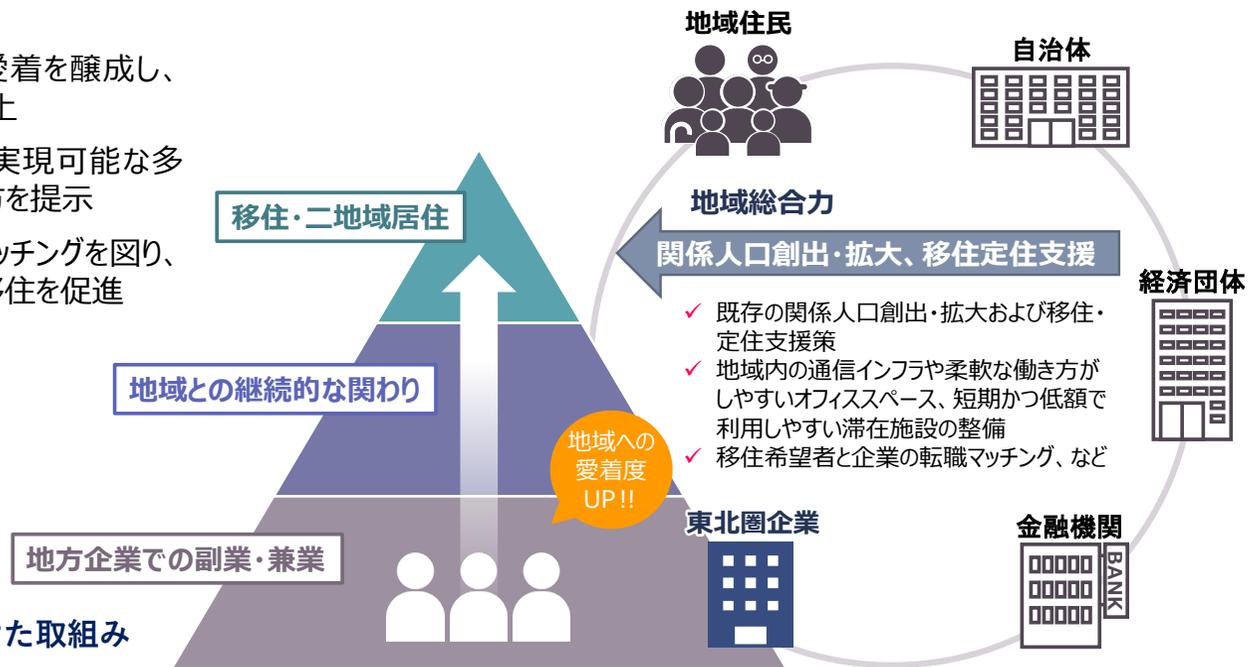
これまでの移住・定住施策に、地域企業による副業・兼業人材誘致・活用策を加え、副業・兼業を通じた移住・二地域居住の実現に向けた取組みに発展させていくことが重要

企業や地域、自治体、金融機関などが連携し、地域が一丸となって副業・兼業人材も含めた多様な人材を受け入れていくことで、東北圏への確かな人口還流につながるものと期待

### POINT

- ① 副業・兼業人材の地域への愛着を醸成し、地域への移住・居留意向を向上
- ② 都市部人材に向け東北圏で実現可能な多様な魅力的な働き方、暮らし方を提示
- ③ 移住希望者と地域企業とのマッチングを図り、移住希望者の地域内就業と移住を促進

地域総合力で挑む  
移住・二地域居住の実現に向けた取組み



「副業・兼業による新たな人材・人口還流方策」報告書URL

<https://www.kasseiken.jp/kassecms/wp-content/uploads/2022/02/03fy-03-00.pdf>



公益財団法人

東北活性化研究センター

<https://www.kasseiken.jp/>

